**（公財）大阪府保健医療財団　　第3期中期経営計画　主な改定点について**

**資料１**

| 改　定　案 | 現　行 | 備考 |
| --- | --- | --- |
| P1Ⅰ　第3期中期経営計画の策定の趣旨（略）[第2期中期経営計画（平成29年度～令和3年度）の概要]（略）(3)目標と達成状況（中間見直し後）[第2期計画の達成状況]（略）・令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響があり、令和3年度目標の内、「総合健診の受診者数」、「施設におけるがん検診の受診者数」、「施設におけるがん検診の収益額」、「がん予防検診事業の当期正味財産増減額」の4つが未達成となった。P3[第3期中期経営計画策定の目的]（略）　計画においては、高額となる医療機器や車検診に必要なものの更新計画を策定するとともに、硬直化した組織体制を改編し、持続可能な法人運営を行うため、必要経費を計上したうえで「がん予防検診事業」の収支バランスの均衡を目指し、その戦略と具体的な取組内容を明らかにする。　（削除）　令和5年4月より、循環器病予防部門の事業が地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に移転されること及び令和4年度実績見込を踏まえ、事業内容や収支見通しを見直し、本計画の改定を行う。P3Ⅱ　『大阪がん循環器病予防センター』の事業方針と経営戦略[事業方針]（略）　（削除）〔経営戦略〕1. 営業活動の強化による「総合健診の受診者数の確保」
2. 精度の高い検診施設の強みを活かした「市町村の個別検診の受託の確保」
3. 受診者のニーズに対応した検診サービスの充実
4. 過去に受診歴があり、直近年受診歴のない方に対し、個別受診勧奨の強化による受診者の確保
5. 大腸がん検診、精検対象者の受診率の向上
6. 市町村のニーズの高い検診車による子宮がん検診と乳がん検診のセット検診の拡大
7. 府内市町村・検診機関の「精度管理の推進」
8. （削除）
9. （削除）
10. （削除）

⑧　収益構造の改善による「法人経営の自立化」の実現P3Ⅲ-1　現状と課題（検診事業）〔現状〕（略）Ⅲ-2　現状と課題（循環器病予防部門）（削除）P4Ⅲ-2 現状と課題（経営状況）〔現状〕（略）≪具体的な対応事例≫・令和４年１月から令和５年３月まで理事長報酬及び管理職手当を削減（１０％）P5[課題](2)　収支改善に取り組み、…（略）…受診者の確保と検診料金の改定を模索し、収支の均衡が図れるよう戦略的に取り組む必要がある。P5Ⅳ-1　【目標と取組み】（検診事業）１　総合健診及びがん検診受診者増≪戦略目標≫　人間ドック健診等収益率の高い総合健診の受診者の維持と大阪市民等のがん検診受診者の増加を図ることによる経営状況の改善　総合健診や保健指導等を通じて循環器病予防を推進≪成果測定指標≫　総合健診の受診者数（継続）　総合健診の受診者数を当初計画では令和8年度に14,820人を目指していたが、令和4年度実績見込を踏まえ、その受診者数を維持する。　がん検診の受診者を当初計画では令和8年度に45,100人を目指していたが、令和4年度実績見込を踏まえ、令和5年度以降の受診者を確保する。P6２　市町村の個別検診の受託の促進（略）３　受診者のニーズに対応した検診サービスの充実（略）　　≪成果測定指標≫休日検診の受診者数の拡大子宮がん検診、乳がん検診を土曜の受診者の受診勧奨を行う。令和4年度実績見込を踏まえ、その受診者数を維持する。P7４　大腸がん精検受診率の向上（略）５　検診車によるセット検診の拡大(略)Ⅳ-2　【目標と取組み】（循環器病予防部門）（削除）P8Ⅳ-2　【目標と取組み】（経営の健全化）１　法人経営の自立化（略）≪成果測定指標≫がん予防検診事業における正味財産増減額（継続）≪具体的活動事項≫（略）(2)　循環器病予防部門の移転に伴い事務部門の人員を1名削減する。（略）P9Ⅴ　収支計画◇経営改善のポイント≪収益確保のための取組み≫（略）(2)検診料金の改定　　市町村の車検診、施設検診及びその他の検診について、8％程度の単価の改定を行う。（略）≪経費節減のための取組み≫（略）(2)事務局の見直し　　循環器病予防部門の移転に伴い事務局の人員を1名削減することで、事務部門の人件費を削減させる。（略）P10≪収支計画見通し≫ | P1Ⅰ　第3期中期経営計画の策定の趣旨（略）[第2期中期経営計画（平成29年度～令和3年度）の概要]（略）(3)目標と達成状況（中間見直し後）[第2期計画の達成状況]（略）・令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症による受診控え等の影響が懸念される。P3[第3期中期経営計画策定の目的]（略）計画においては、高額となる医療機器や車検診に必要なものの更新計画を策定するとともに、硬直化した組織体制を改編し、持続可能な法人運営を行うため、必要経費を計上したうえで「がん予防検診部門」の収支バランスの均衡を目指し、その戦略と具体的な取組内容を明らかにする。なお、循環器病予防部門については、令和５年４月１日より地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所への移転が予定されている。そのため、令和５年度以降に当法人で実施する事業の内容や収支への影響等は検討中のものであり、内容が確定次第、改めて本計画を見直すものとする。P3Ⅱ　『大阪がん循環器病予防センター』の事業方針と経営戦略[事業方針]（略）(2)　また、府と協働して、地域の健康課題を明らかにし、府民の健康課題づくりに取り組むことにより、大阪府健康増進計画の実践に寄与する。〔経営戦略〕1. 営業活動の強化による「総合健診の受診者数の確保」
2. 精度の高い検診施設の強みを活かした「市町村の個別検診の受託の確保」
3. 受診者のニーズに対応した検診サービスの充実
4. 過去に受診歴があり、直近年受診歴のない方に対し、個別受診勧奨の強化による受診者の確保
5. 大腸がん検診、精検対象者の受診率の向上
6. 市町村のニーズの高い検診車による子宮がん検診と乳がん検診のセット検診の拡大
7. 府内市町村・検診機関の「精度管理の推進」
8. 特定健診・医療費データ等の分析による「地域の健康課題の明確化」
9. 健康指標改善のための「行動変容プログラムの実践支援」
10. 循環器病と危険因子のモニタリングによる「エビデンスや方法論の開発・普及」
11. 収益構造の改善による「法人経営の自立化」の実現

P4Ⅲ-1　現状と課題（がん予防検診部門）P4Ⅲ-2　現状と課題（循環器病予防部門）P5Ⅲ-3　現状と課題（経営状況）〔現状〕　（略）≪具体的な対応事例≫・令和４年１月から理事長報酬及び管理職手当を削減（１０％）P5[課題]（略）(2)　収支改善に取り組み、…（略）…受診者の確保と検診料金の改定を模索し、検診事業全体として収支均衡が図れるよう戦略的に取り組む必要がある。P6Ⅳ-1　【目標と取組み】（がん予防検診部門）１　総合健診及びがん検診受診者増 ≪戦略目標≫　人間ドック健診等収益率の高い総合健診の受診者の維持と大阪市民等のがん検診受診者の増加を図ることによる経営状況の改善≪成果測定指標≫　総合健診の受診者数（継続）　総合健診の受診者数を令和8年度に14,820人を目指し受診者を確保する。がん検診の受診者を令和8年度に45,100人を目指し受診者を確保する。２　市町村の個別検診の受託の促進（略）P7３　受診者のニーズに対応した検診サービスの充実（略）≪成果測定指標≫休日検診の受診者数の拡大子宮がん検診、乳がん検診を土曜の受診者の受診勧奨を行う。P7４　大腸がん精検受診率の向上（略）P8５　検診車によるセット検診の拡大(略)P9Ⅳ-2　【目標と取組み】（循環器病予防部門）（略）P10Ⅳ-3　【目標と取組み】（経営の健全化）１　法人経営の自立化（略）≪成果測定指標≫がん予防検診事業における正味財産増減額（継続）≪具体的活動事項≫（略）(2)　循環器部門の移転に伴い事務局の人員整理を行う。（略）P11Ⅴ　収支計画◇経営改善のポイント≪収益確保のための取組み≫（略）(2)検診料金の改定市町村の車検診及び施設検診は5％程度、その他の検診は3％程度の単価の改定を行う。（略）≪経費節減のための取組み≫（略）(2)事務局の見直し循環器部門の移転により、事務局経費が削減されることを踏まえ、事務局の人員についても同様に見直しを行い、人件費を削減させる。（略）P13 ≪収支計画見通し≫ | 　　実績を踏まえ追記循環器病予防部門の移転に伴い部門が一つになるため修正。削除計画改定の趣旨を追記循環器病予防部門の移転に伴い削除削除削除削除番号変更移転に伴い部門が一つになるため修正。移転に伴い削除番号変更措置終了部門が一つになるため文言修正移転に伴い部門が一つになるため修正.循環器病健診に係る部分を追記実績見込を踏まえ修正実績値及び見込値を踏まえて更新実績見込を踏まえ修正実績値及び見込値を踏まえて更新実績値及び見込値に更新実績見込を踏まえ追記計画値から実績値及び見込値に更新計画値から実績値及び見込値に更新計画値から実績値及び見込値に更新移転に伴い削除番号変更数値確定及び循環器病予防部門の移転に伴う収支計画の見直しに基づき変更　人員整理に伴う変更料金改定率の変更人員整理に伴う変更循環器病予防部門の移転及び令和4年度実績見込に伴う収支計画の見直しに基づき変更 |